１２．電子メールプログラム（ＭＨ）の使い方

目次

1　はじめに　1

2　自分にメールを出す　2

3　電子メールを読む　6

4　dbget@genome.ad.jp に 質問メールを出す　9

5　dbget@genome.ad.jp からメールを受けとる　12

6　電子メールの整理　14

7　まとめ　17

1 はじめに

この資料は, ヒトゲノム解析センターのサーバーマシン上 (hgc および hgcdb) で 電子メールを読み書きするために最低限必要となる操作を順を追ってまとめたものです. この資料に従ってメールを読み書きする練習をしてみましょう. この資料の内容は,

1. 自分自身に電子メールを出してみる (2 節).
2. 電子メールを読む (3 節).
3. dbget@genome.ad.jp に 質問メールを出して, 塩基配列データを取り寄せる (4,5 節).
4. メールの整理.

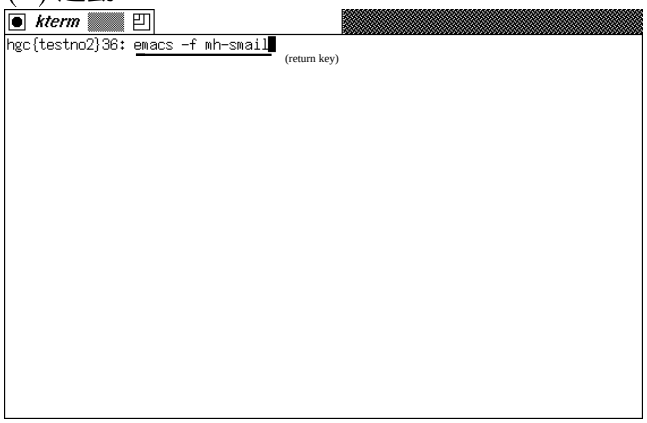
の 4 つの例題からなります. また, 付録として, 電子メール読み書きプログラムを高度に使うヒントをまとめています.

なお, この資料を利用する上で次のことに注意して下さい.

- 実際の画面は, この資料の画面例と細部が異なる場合があります.
- サーバーマシンへの login の方法については記述してありません. 前もって１０章「各種端末からの接続法」を参照して確かめておいて下さい.
- テキストエディター emacs を使ったテキストの編集方法についても 書いてありません. 入力内容を修正するためには, emacs の操作につい て書かれた別資料「利用の手引 (UNIX 入門)」, emacs に内蔵のオンラインチュートリアル, および市販の emacs 入門書を参考にして下さい.
- Macintosh 上で, 簡単に電子メールを読み書きするためのソフトウェア Eudora については, ９章「Macintosh からの利用法」 を参照して下さい.

2　自分にメールを出す

(1) 起動



↵

emacs を使った電子メール送信プログラム mh-smail を立ち上げます.
emacs -f mh-smail(リターンキー)
と入力して下さい.

「 利用の手引 (UNIX 入門) 」には, emacs の立ち上げと, mh-smail の立ち上げを別々に行なう方法が説明されています.

(2) 宛先

宛先に自分自身のユーザー名を書きます. この例の場合は, 宛先を ユーザー名 lect-1 としています.

(3) コピー宛先

リターンキーを押して下さい (注: CC はカーボンコピーの略で, 本来の宛先以外にメールの複製を送りたい場合, ここに複製を送る宛先を記入します).

(4) 話題 (subject)

電子メールの内容要約を (英数字で) 簡単に記入します (別になくてもプログラムは動作しますが, 適切な Subject をつけておくとあとで分類のために便利です).

test(リターンキー) と入力して下さい.

(5) 本文入力開始

Subject の入力後, 画面はこのように変化します.

(6) 外部ファイルを取り込む

Control キーと 'x' キーを同時に押して下さい. 次に, Control キーを離し 'i' キーを押して下さい. 画面が上の図のように変化し, ファイルの取り込みが可能になります.

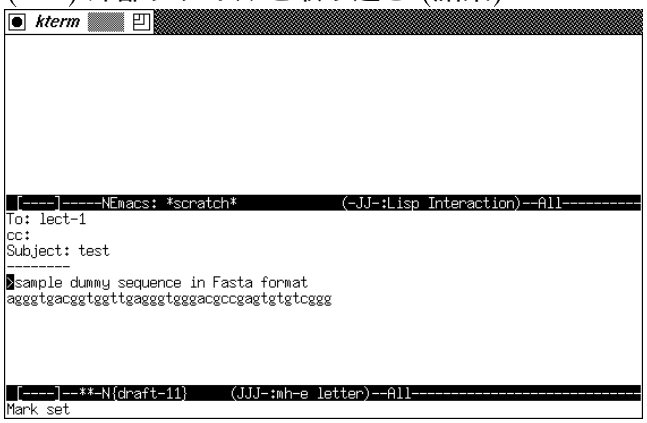
(6-1) 外部ファイルを取り込む (その 2)

取り込むファイル名を入力します. この例の場合は, 前もって dummy.seq というファイルを用意してあります.

入力は ~/dummy.seq(リターンキー) のように先頭に~/ をつけて下さい. 端末によっては, ~ が - のように表示される場合があります.

> 実際に電子メールを送る時は, 前もって別ファイルに文章を用意しておいて, それを取り込むことも, mh-smail 中で emacs の機能を使って内容を編集することも出来ます.
>
> 講習会用のユーザー (lect-1,. . . , lect-5) 以外のユーザーがこの操作を行なう場合には, 取り込むファイル名を "~common/User/dummy.seq" と変更して下さい.

(6-3) 外部ファイルを取り込む (結果)

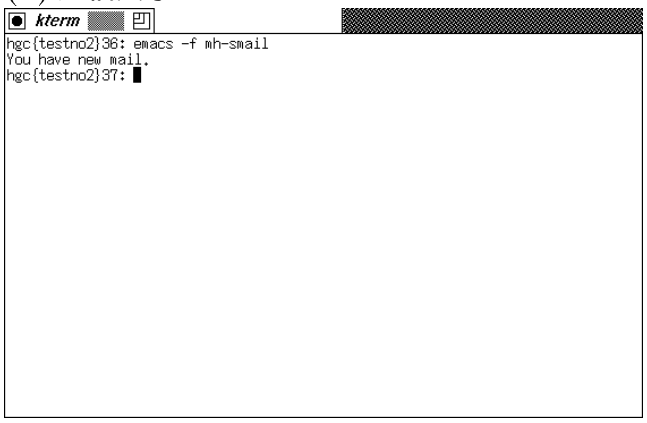


操作の結果, 表示は上のように変わります.

(7) 電子メール送信実行

Control キーと 'c' キーとを同時に 2 回続けて押して下さい. 画面は上の図のようになります.

(8) 送信終了



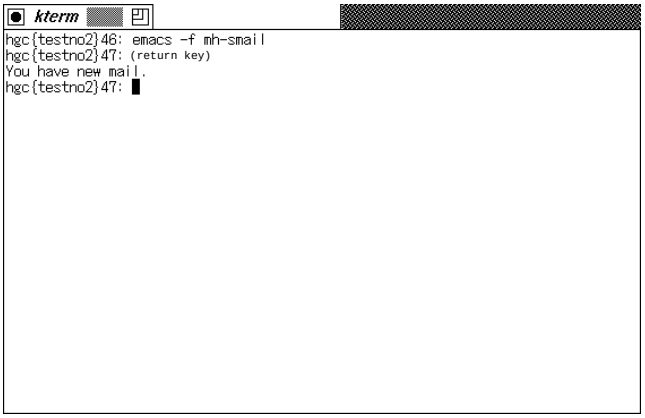
まず Control キーと 'x' キーとを同時に押し, 次に, Control キーと 'c' キーとを同時に押して下さい. 画面は上の図のようになります.

もし上の図のようにならなかった場合は, まず Control キーと 'g' キーとを同時に押してください. そしてしばらく待ってから, もう一度 (8) の操作を繰り返して下さい.

3　電子メールを読む

2 節で自分宛に出した電子メールを読んでみます.

(9) 電子メール到着の確認



2 節での自分宛電子メールの送信が正しく行なわれているならば, 画面に You have new mail と表示されているはずです. 表示されない場合, リターンキーを何度か押してみて下さい.

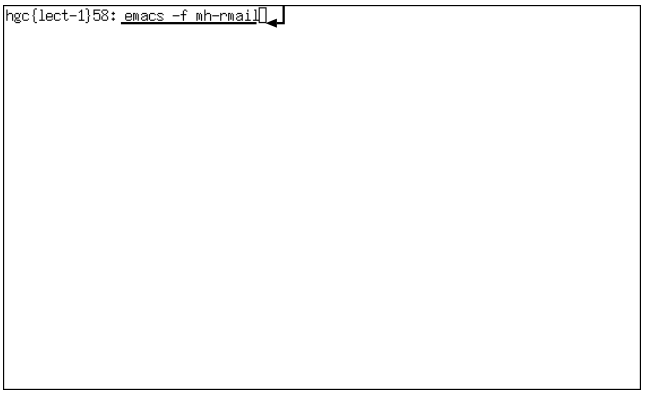
それでも表示されない場合は, 2 節の操作を繰り返して下さい (注: (2) で入力した宛先は自分のユーザー名になっていますか?)

(10) 電子メールを読む

emacs を使った電子メール受信プログラム mh-rmail を立ち上げます. Unix コマンドライン (hgc{lect-1}2: と表示されている状態) から,

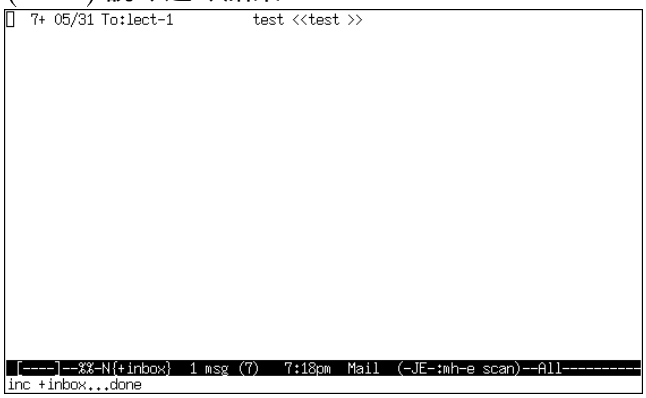
emacs -f mh-rmail(リターンキー)

と入力して下さい.



「 利用の手引 (UNIX 入門) 」には, emacs の立ち上げと, mh-rmail の立ち上げを別々に行なう方法が説明されています.

(10-1) 読み込み結果



上のように表示されます.

(11) 電子メールの内容表示
ピリオド '. ' キーを押して下さい. 下のように表示されます

これが, 先ほど自分宛に送った電子メールの内容です.

(12) 電子メールをファイルにコピーする
大なり記号キー ('>') (リターンキー) を続けて押します. すると 画面の下部に,

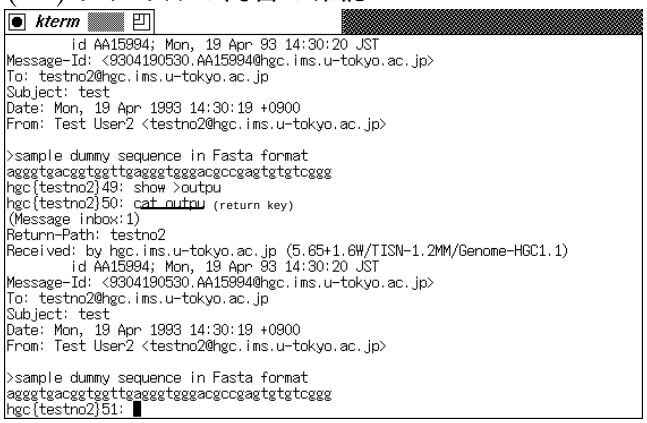
Save message in file:

と表示されますので, データを保存するファイル名を入力してリターンキーを押して下さい.

画面に表示された内容がファイルに書き込まれます.

(13) 電子メール受信プログラムの終了　まず, q, キーを押し, 次に, Control キーと 'x' キーとを同時に押し, 最後に, Control キーと 'c' キーとを同時に押して下さい ((8) 参考). 電子メール受信プログラムを終了し, Unix のコマンドラインに戻ります.

(14) ファイルの内容の確認



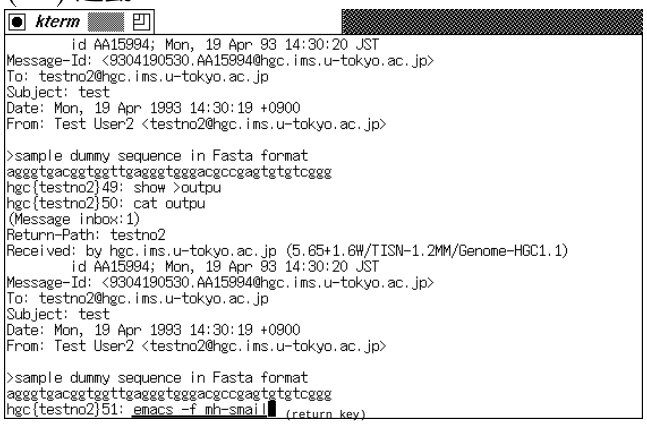
出力されたファイルの内容を cat コマンドで確認します.

cat 〈 ファイル名 ∠(リターンキー) と入力して下さい.

(注:cat コマンドはファイルの内容を表示するために使います. 詳しくは man cat として調べて下さい.)

4　dbget@genome.ad.jp に 質問メールを出す

(15) 起動



(1) と同じです.

(16) 宛先を入力

注: 画面の表示と入力内容とは異なります. 正しく dbget@genome.ad.jp と入力して下さい.
詳しくは 5 節を参照して下さい.

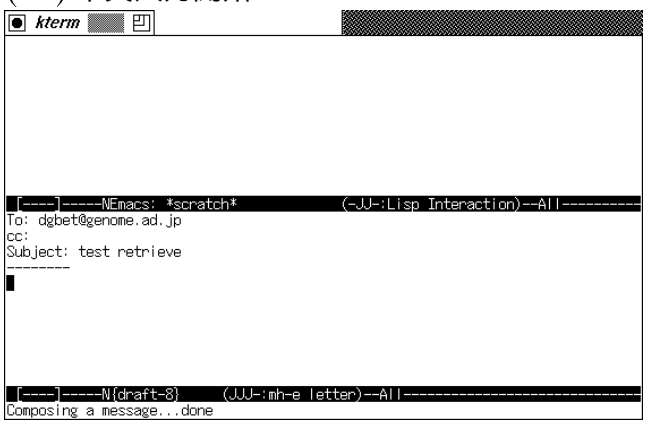
dbget@genome.ad.jp(リターンキー) と宛先を入力します. この宛先の意味については資料「利用の手引 (UNIX 入門)」 p.4, p.13, および「ゲノムネットサービス, 電子メールサーバー」を参照して下さい.

次に Cc: と表示されたらリターンキーを押します ((3) 参考).

(17) 話題の入力

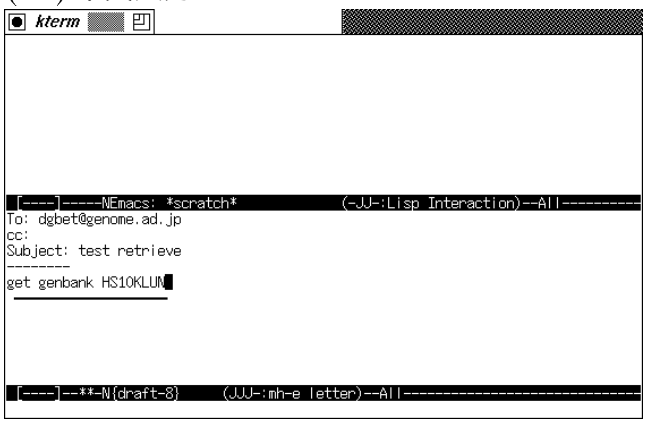
test retrieve(リターンキー) と入力します ((4) 参考).

(18) 本文入力開始



表示は上のように変わります.

(19) 本文入力

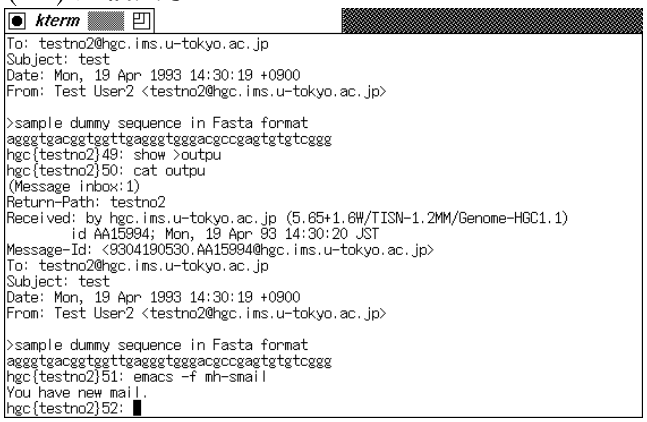


genbank から HS10KLUN を 取り寄せます. get genbank HS10KLUN と入力します.

(20) 電子メール送信実行

Control キーと 'c' キーとを同時に, 続けて 2 回押して下さい. 画面は上の図のようになります ((7) 参考).

(21) 送信終了



まず, Control キーと 'x' キーとを同時に押し, 次に, Control キーと 'c' キーとを同時に押して下さい ((8) 参考). 画面は上の図のように変わります.

5　dbget@genome.ad.jp からメールを受けとる

(22) 電子メールの到着確認

Unix のコマンドラインで, リターンキーを何度か押してみて下さい. 2,3 分後, 画面に You have new mail と表示されます ((9) 参考).

(23) 電子メールの受信

emacs -f mh-rmail と入力して下さい. 次の画面が表示されます.

(23-1) 受信電子メールの内容表示
ピリオド '.' キーを押すと受信内容が表示されます.

スペースキーを押すと次の画面が表示され, Delete キーを押すと一つ前の画面が表示されます.

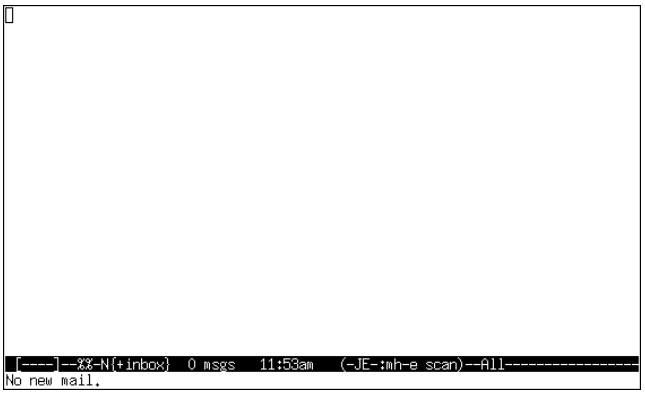
(24) 終了その他

- 電子メールの内容をファイルに保存するには, 前に説明したように > ⟨ ファイル名 ⟩ (リターンキー) です.
- 終了は, 'q' キーを押した後, Control キーと 'x' キーとを同時に押し, 最後に, Control キーと 'c' キーとを同時に押して下さい ((8) 参考).

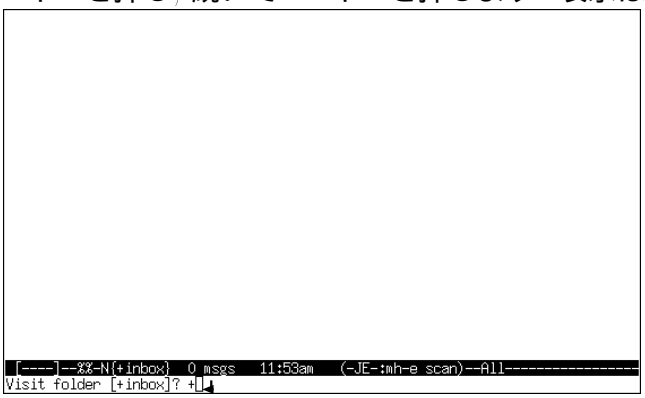
6　電子メールの整理

電子メールは, そのままほおっておくと, 以前届いた電子メールがどんどん他待っていきます. この節では電子メールの整理について初歩的な操作を説明します.

(25) これまでに届いた電子メールの一覧表示
emacs -f mh-rmail として電子メール読み出しプログラムを立ちあげます. 下の図のように表示されます.

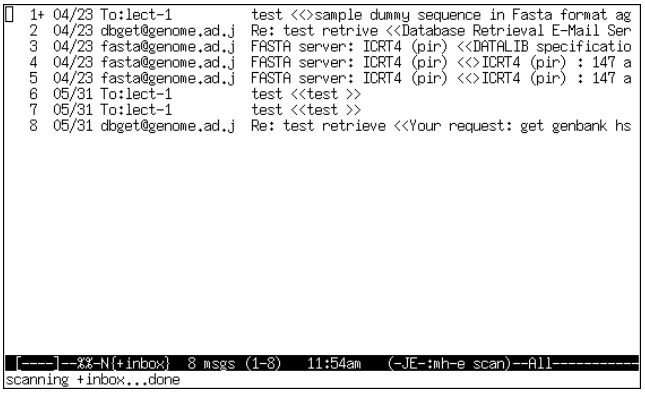


(25-1) 電子メールの一覧表示その 3
ESC キーを押し, 続いて 'f' キーを押します. 表示は下の図のように変わります.



(25-2) 電子メールの一覧表示その 3
続いてリターンキーを 2 回続けて押すと, 次のように表示が変わります.

> 2 回目のリターンの代わりに, Range [all] ? と表示されているときに, 例えば “last:5” (リターンキー) と入力すると, 最近届いた 5 本の電子メールだけの一覧を表示します.



これは, 今まで自分宛に届いた電子メールの一覧表です.

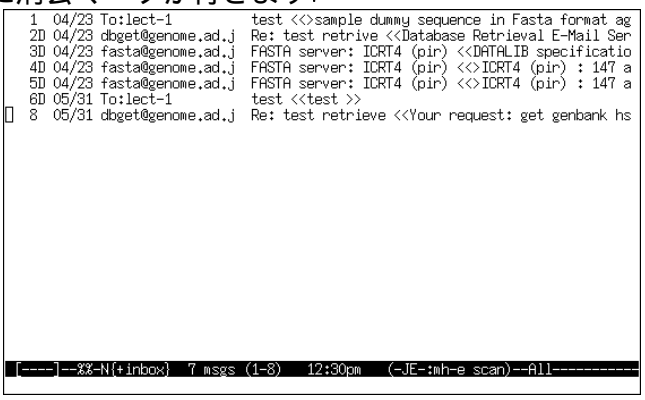
(26) 以前届いた電子メールの内容表示

ピリオドキー ‘.’ を押すと, 現在カーソルが表示されている行に対応する電子メールの本文が表示されます. 続いて,

スペースキーを押すと次の画面
Delete キーを押すと一つ前の画面
‘n’ キーを押すと次の電子メールの本文
‘p’ キーを押すと一つ前の電子メールの本文
を表示します.

(27) 不要な電子メールの消去

'd' キーを押すと, 現在カーソルがある行に D という文字が表示され, その行に対応する電子メールに消去マークが付きます.



(27-1) 不要な電子メールの消去 (実行)

'x' キーを押すと, 消去が実行され, 画面の表示は次のように変わります.

(28) 終了　まず, Control キーと 'x' キーとを同時に押し, 次に, Control キーと 'c' キーとを同時に押して下さい ((8) 参考).

7　まとめ

この資料では次のことを説明しました.

- 電子メールの送信
  1. emacs -f mh-smail で送信プログラムを起動する.
  2. To: と表示されたら宛先を入力する.
  3. Control キーと 'c' を同時に 2 回押すと送信実行.
  4. Control キーと 'x' を同時に押し, そのあと 'i' キーを押すと外部ファイルの取り込み,
  5. Control キーと 'x' を同時に押し, そのあと Control キーと 'c' を同時に押すと終了.
- 電子メールの受信
  1. 受信すると You have new mail (または You have mail) と表示される.
  2. emacs -f mh-rmail で受信プログラムを起動する.
  3. '.' で表示. '>' ⟨ ファイル名 ⟩ でファイルに書き込む.
  4. スペースバー, Delete キーで画面スクロール.
  5. 'q' で終了.
- 電子メールの整理
  1. ESC 'f' で届いたメールの一覧.
  2. 'n' で次のメッセージ. 'p' で一つ前のメッセージ.
  3. カーソルを移動して '.' で内容表示.
  4. 'd' に続いて 'x' で 不要な電子メール消去.

emacs -f mh-rmail を起動した状態ではこの他に, 例えば次のようなことが出来ます.

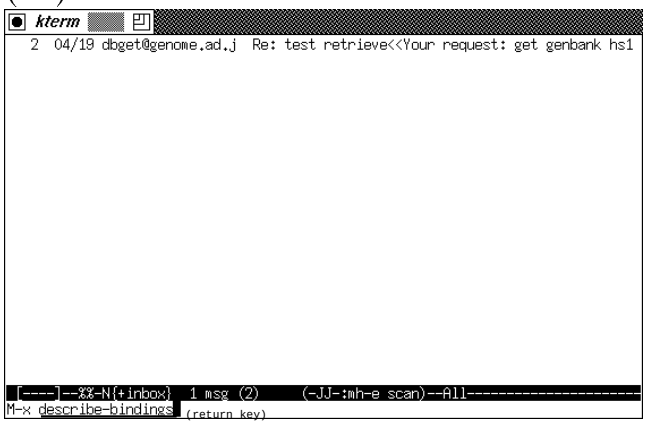
- 'a' で現在読んでいる電子メールに対する返事を作成する.
- キャレットキー ('^') ⟨ フォルダー名 ⟩ (リターンキー) で, 現在読んでいる電子メールを, 他の整理用フォルダーに移動する.
- ESC 'f' 入力後, リターンキーの代わりに, ⟨ フォルダー名 ⟩ (リターンキー) を入力することで, 整理用フォルダーの内容一覧を見る.

もっと高度に使うには

mh-smail, mh-rmail でどのようなことができるか調べるためには, 例えば,
emacs -f mh-rmail と入力して mh-rmail を立ち上げた状態で,
ESC キー, 'x' , describe-bindings(リターンキー) とすると, 使える機能の名称一覧が表示されます. それぞれの機能については,
ESC キー,'x' , describe-function(リターンキー) < 機能名 > とすると, その機能の説明が表示されます.

例:

(28)



emacs -f mh-rmail(リターンキー) と入力し mh-rmail を立ち上げます. 次に, ESC キー, 'x' , describe-bindings(リターンキー) と入力します.

(29)

画面はこのように変化します.

(30)

ESC キーを押し, 次に Control キーと 'v' キーを同時に押すと説明が 1 画面分スクロールします. > キーを押すと実行されるコマンド, mh-write-msg-to-file の説明を見てみます.

(31)

ESC キー, 'x' , describe-function(リターンキー) と入力します.

(32)

続いて, mh-write-msg-to-file(リターンキー) と入力します.

(33)

説明が表示されます. mh-write-msg-to-file は, 届いた電子メールの内容をファイルに書き込むコマンドです. 既存のファイルがあった場合は, そのファイルに追加書き込みをします.